

本町通における自転車レーン整備の効果検証 [速報版]

整備区間

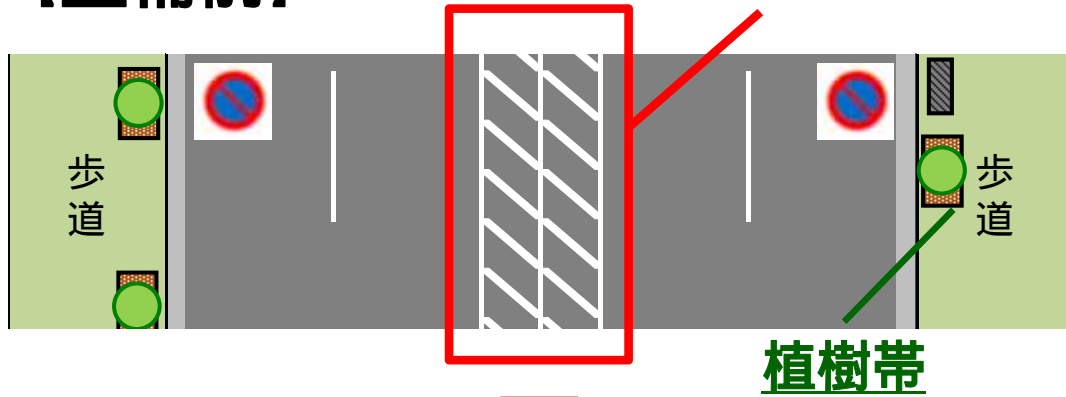
・ 整備区間、下図に示す本町通（なにわ筋～松屋町筋）の約1.7 km

本町通（なにわ筋～松屋町筋）L 1.7km



- 車道通行を基本に、「自転車レーン」を採用(市内初)。

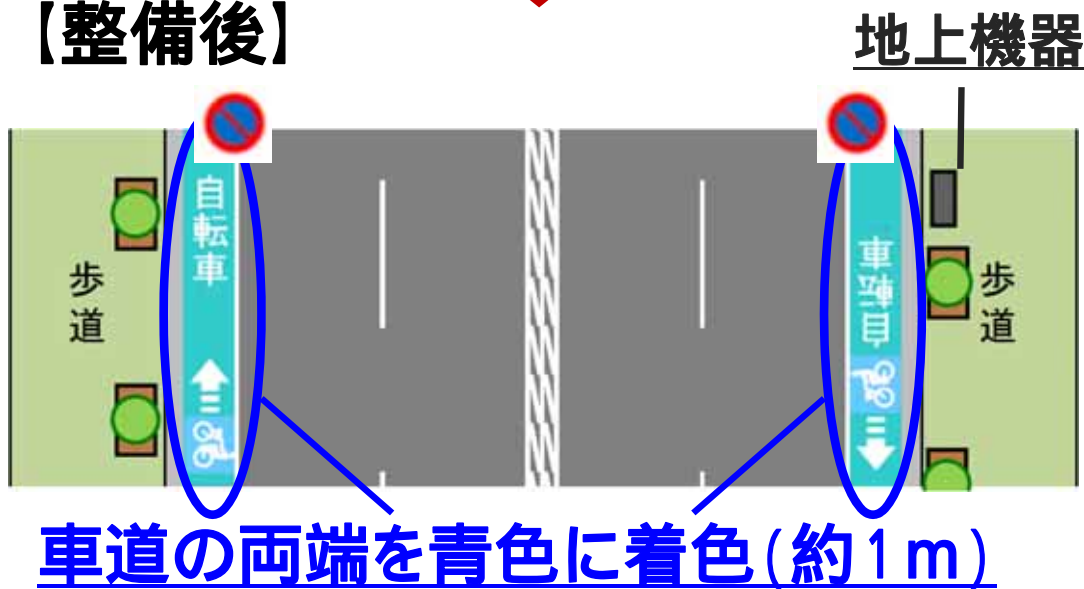
【整備前】



【整備写真】



【整備後】

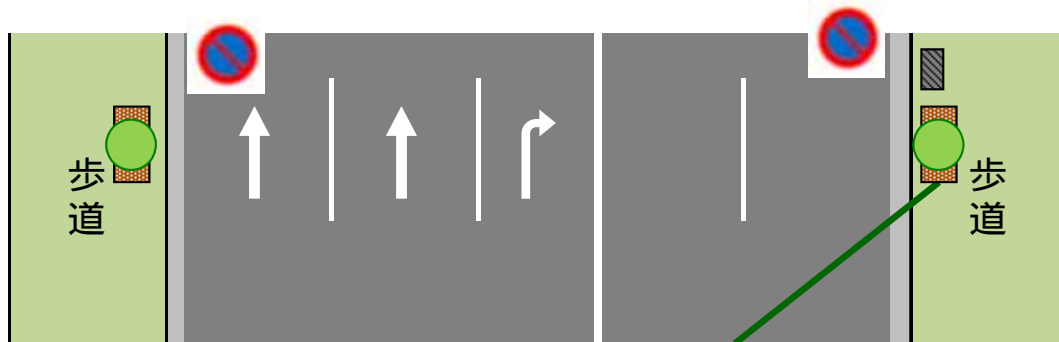


ポイント(交通規制)

- ・ 車道の通行空間は法定外表示
- ・ 歩道の自転車通行可規制をそのまま継続

- 右折レーン等により独立した空間を確保できない場合の車道混在型。

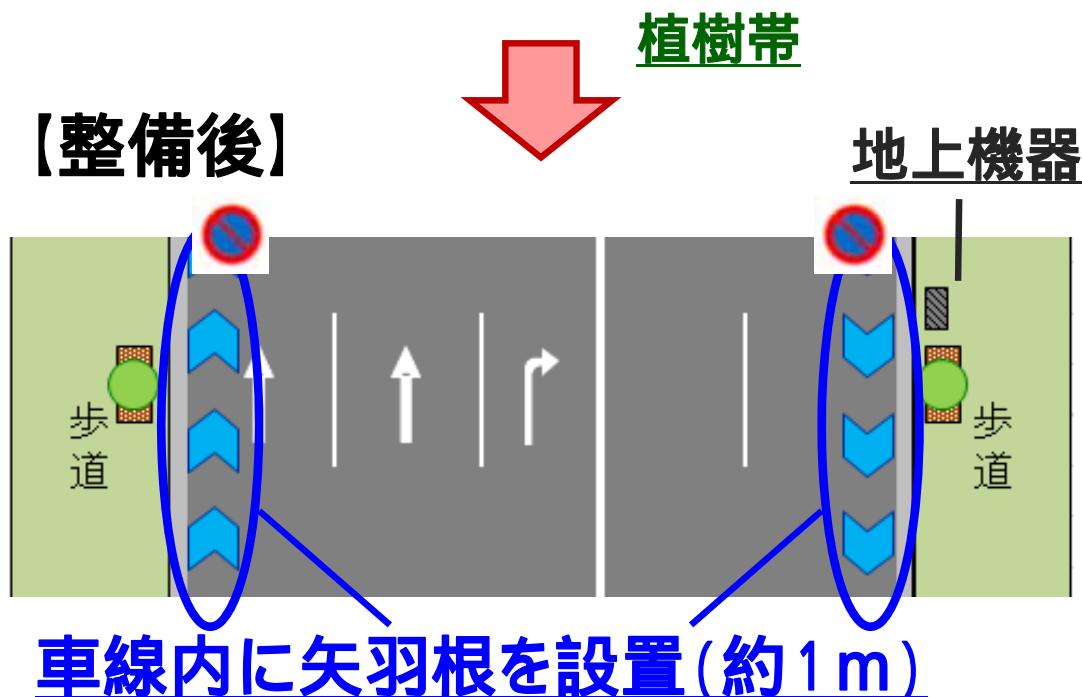
【整備前】



【整備写真】



【整備後】



ポイント(路面表示)

府内でデザイン統一

(法定外表示実施要領)

➤ 車道を通行する自転車への通行ルールの周知。

H27

看板



路面表示



➤ 歩道内の通行ルールを示す路面表示と看板も設置。

H25



H26



以下の視点で看板を工夫
歩道の有効幅員を確保
景観への配慮

➤ 歩道内の通行ルールを示す路面表示と看板も設置。

H27



自転車歩行者道に自転車のピクトグラムや看板等を設置すれば、歩道内の通行ルールが正確に伝わらない。

整備前・整備直後調査による比較

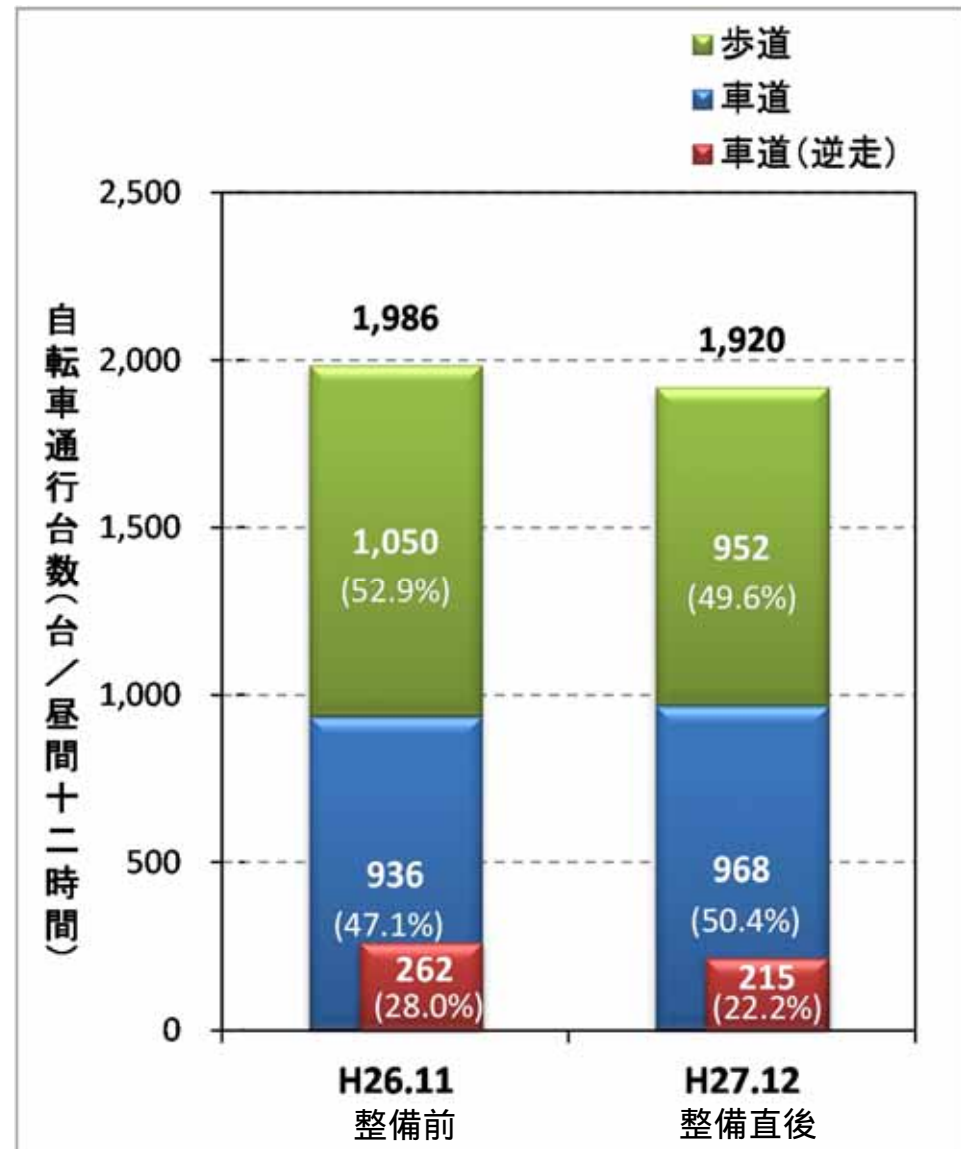
< なにわ筋～四つ橋筋（H27整備区間） >

歩道を通行する自転車の微減

【整備前調査：53% 整備直後調査：50%】

逆走する自転車の減少

【整備前調査：28% 整備直後調査：22%】



H27.12 整備完了

整備前・整備直後・整備2年後調査による比較

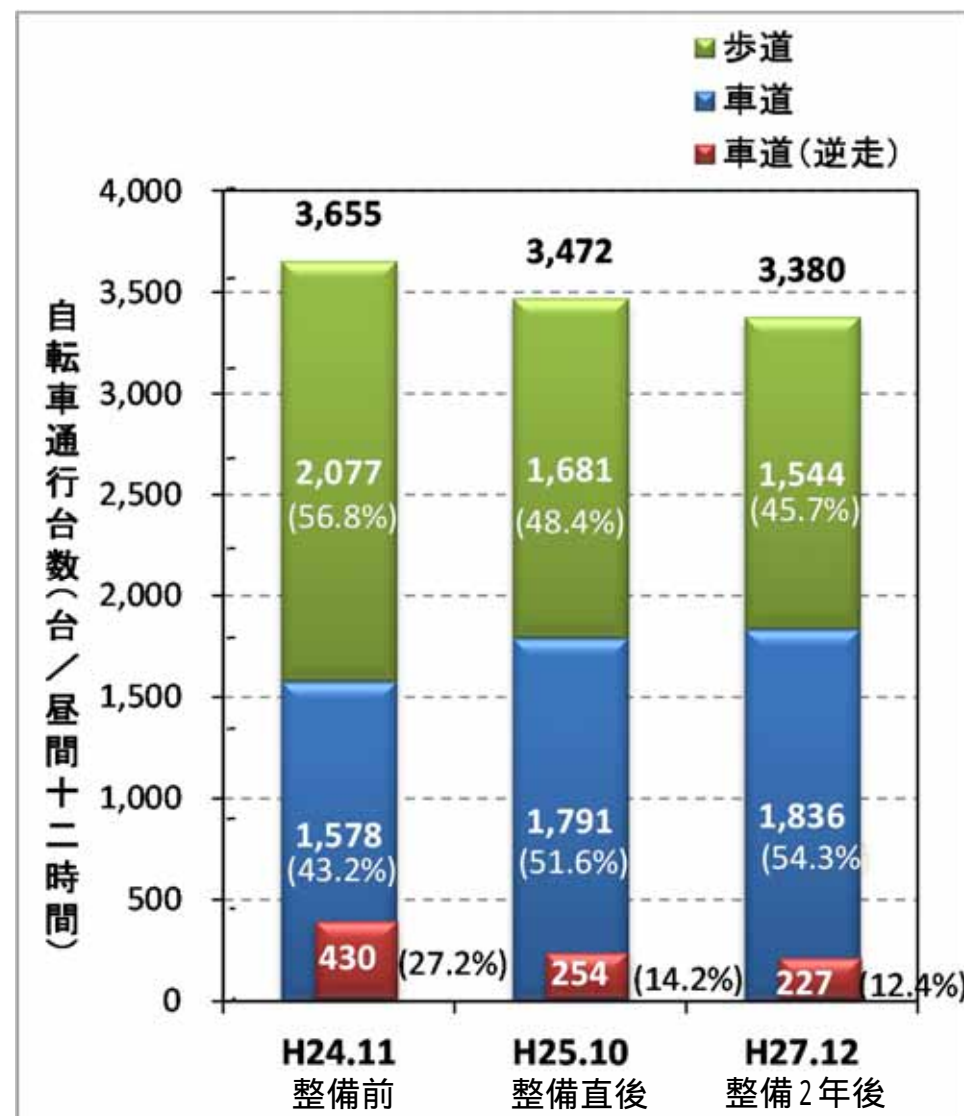
< 御堂筋～堺筋（H25整備区間） >

歩道を通行する自転車が継続して減少

【整備前調査：57% 整備直後調査：48%
整備2年後調査：46%】

逆走する自転車が継続して減少

【整備前調査：27% 整備直後調査：14%
整備2年後調査：12%】



H25.9 整備完了

アンケート調査 安全性・快適性に関する評価

平成27年度整備区間(なにわ筋～御堂筋)において、利用者アンケートを実施（H28.1.22実施）

安全性に関する評価

歩行者、自転車ともに、約4割の方が、整備前よりも「安全(やや安全)になった」と感じている。

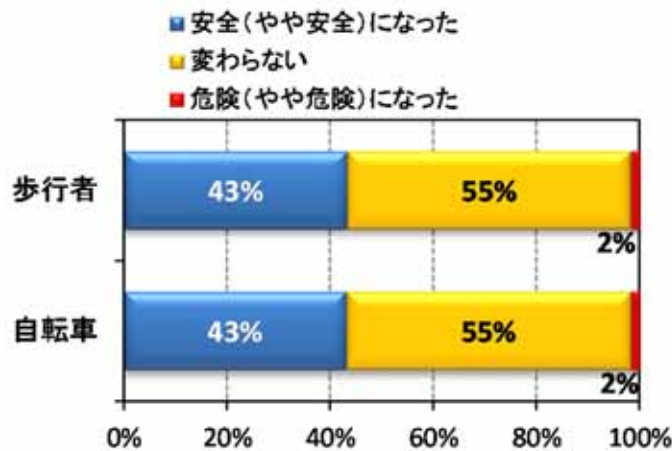
快適性に関する評価

歩行者、自転車では約4割の方が「快適(やや快適)になった」と感じている。

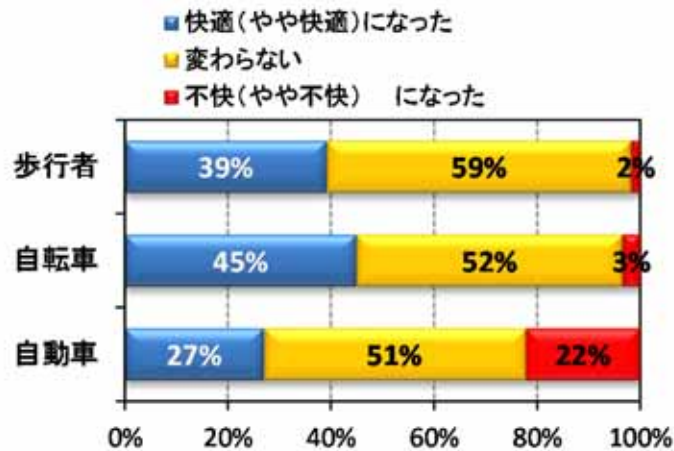
また、自動車においても約3割の方が「快適(やや快適)になった」と回答しており、不快(やや不快)になった」と回答した方を上回る結果となった。

今後の自転車レーン整備については、歩行者、自転車、自動車ともに、約6～8割の方が「進めるべき(どちらかといえば進めるべき)」と回答しており、自転車レーン整備の継続を望む声が多かった。

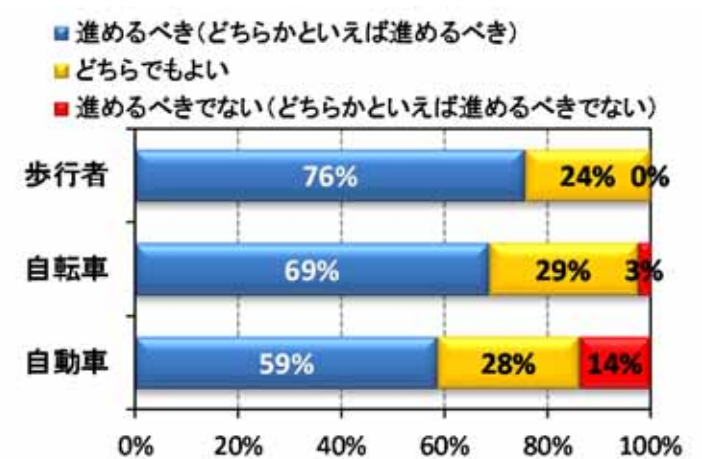
【Q.自転車レーン整備がされて、安全になりましたか。】



【Q.自転車レーン整備がされて、快適(歩きやすく、走りやすく)になりましたか。】



【Q. 今後の自転車レーンの整備についてどう思いますか。】



= まとめ =

< 課題と今後の方針 >

本町通の整備においては、一定の効果が見られた。
利用者からも整備の継続を望む声が多い。

ピンポイントの整備では、効果が限られるため、継続して整備を広めていくことが必要。